

第4章 関連調査結果

1 医療機関を対象としたアンケート調査結果

(1) 調査概要

① 目的・調査方法

- 実施医療機関にアンケート調査を行い、実施率低迷の要因を把握し向上に向けた対策の参考とするほか、新型コロナウイルス感染症の増大が特定健診等の実施に与える影響を把握することで、今後の円滑な実施に向けた検討の参考とします。
- 本中間評価においては、質的なデータの分析として位置付けます。
- 札幌市国保の特定健診を受託する実施医療機関（555件）を対象にアンケート調査を実施しました。なお、調査票の発送・回収は郵送にて行いました。
- 調査期間は、令和2年11月上旬～下旬としました。

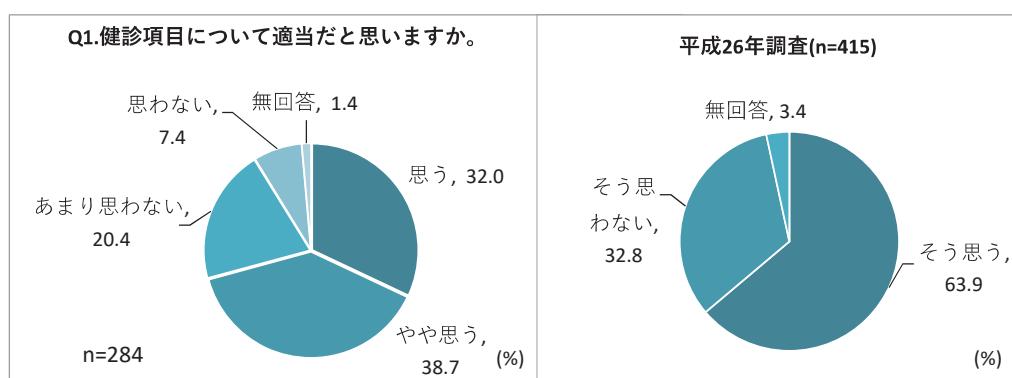
② 回収数・回収率

- アンケートの回収数は284件、回収率は51.2%となりました。

(2) 調査結果

Q1. 健診項目²³について適當だと思いますか。

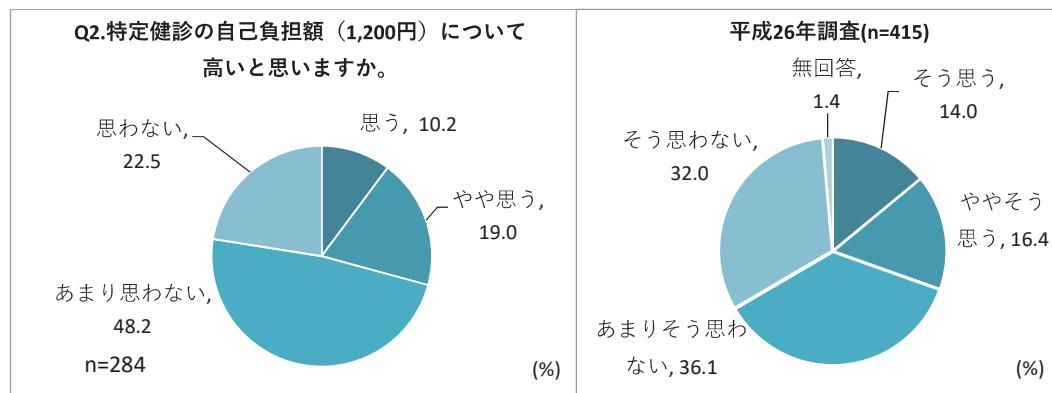
- 健診項目が適當だと思うかについては、「思う」が32.0%、「やや思う」が38.7%となり、約7割が適當と思っていることがわかります。
- 平成26年調査では「そう思う」が63.9%となっており、今回の調査において適當だと思う割合がやや増加したことがわかります。



²³ 診察（問診、身体計測、血圧測定）、血液検査（脂質、肝機能、血糖、腎機能）、尿検査

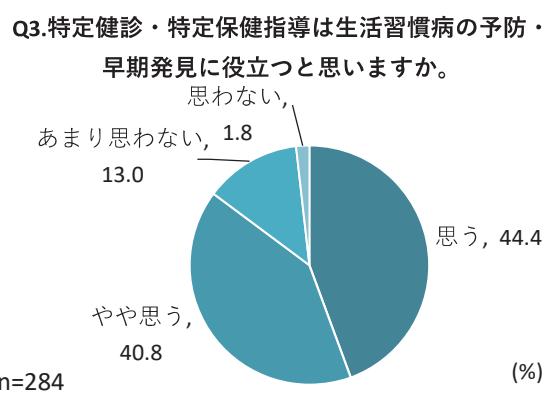
Q2. 特定健診の自己負担額（1,200円²⁴）について高いと思いますか。

- 特定健診の自己負担額について高いと思うかについては、「あまり思わない」が48.2%、「思わない」が22.5%となり、約7割が自己負担額（1,200円）は高いと思っていないことがわかります。
- 平成26年調査では、「あまりそう思わない」が36.1%、「そう思わない」が32.0%となり、約7割が高いと思っておらず、今回の調査結果は前回と同様の傾向であることがわかります。



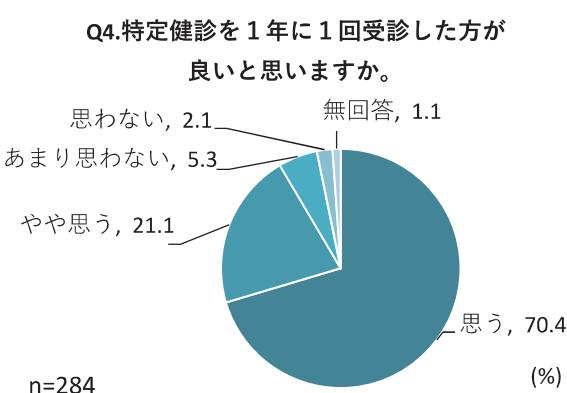
Q3. 特定健診・特定保健指導は生活習慣病の予防・早期発見に役立つと思いますか。

- 特定健診・特定保健指導は生活習慣病の予防・早期発見に役立つと思うかについては、「思う」が44.4%、「やや思う」が40.8%となり、8割以上が役立つと思っていることがわかります。



Q4. 特定健診を1年に1回受診した方が良いと思いますか。

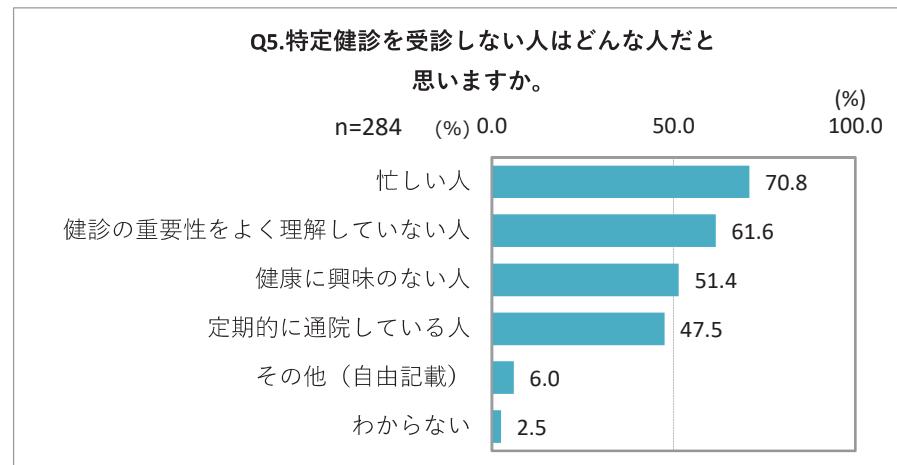
- 特定健診を1年に1回受診した方が良いと思うかについては、「思う」が70.4%、「やや思う」が21.1%となり、9割以上が1年に1回受診した方が良いと思っていることがわかります。



²⁴ 個別健診で住民税課税世帯の場合の金額。

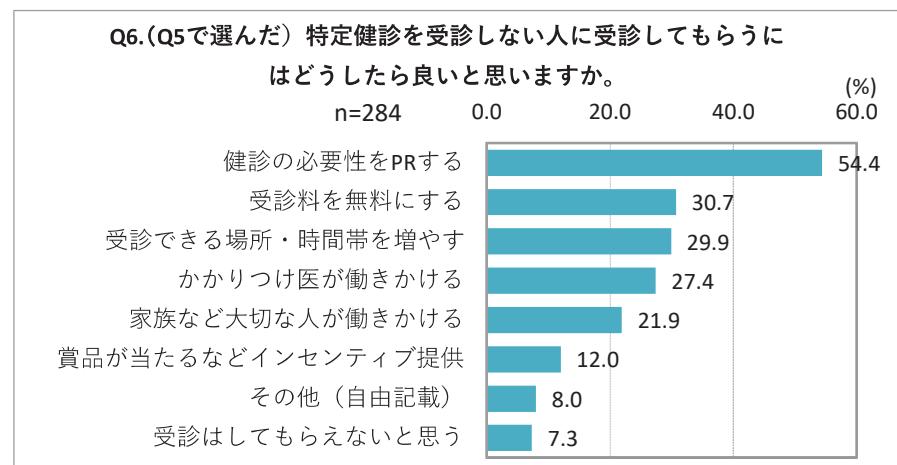
Q5. 特定健診を受診しない人はどんな人だと思いますか。

- 特定健診を受診しない人はどんな人だと思うかについては、「忙しい人」が70.8%と最も多い、次いで「健診の重要性をよく理解していない人」が61.6%となっています。



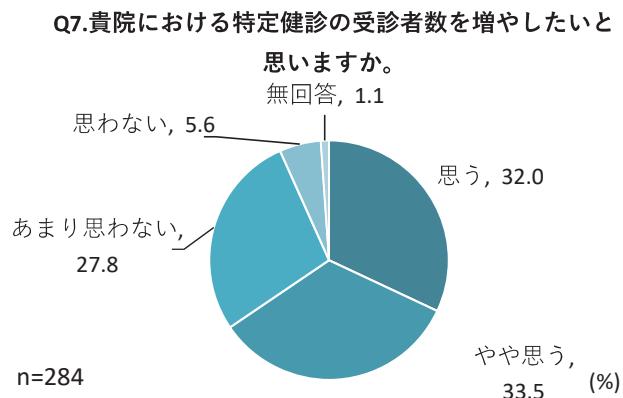
Q6. (Q5で選んだ) 特定健診を受診しない人に受診してもらうにはどうしたら良い と思いますか。

- 特定健診を受診しない人に受診してもらうにはどうしたら良いと思うかについては、「健診の必要性をPRする」が54.4%と最も多い、次いで「受診料を無料にする」が30.7%、「受診できる場所・時間帯を増やす」が29.9%となっています。



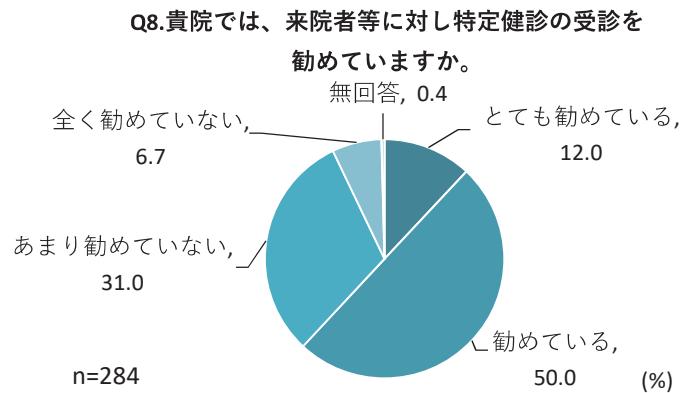
Q7. 貴院における特定健診の受診者数を増やしたいと思いますか。

- 貴院における特定健診の受診者数を増やしたいと思うかについては、「思う」が32.0%、「やや思う」が33.5%となり、6割以上が受診者数を増やしたいと思っていることがわかります。



Q8. 貴院では、来院者等に対し特定健診の受診を勧めていますか。

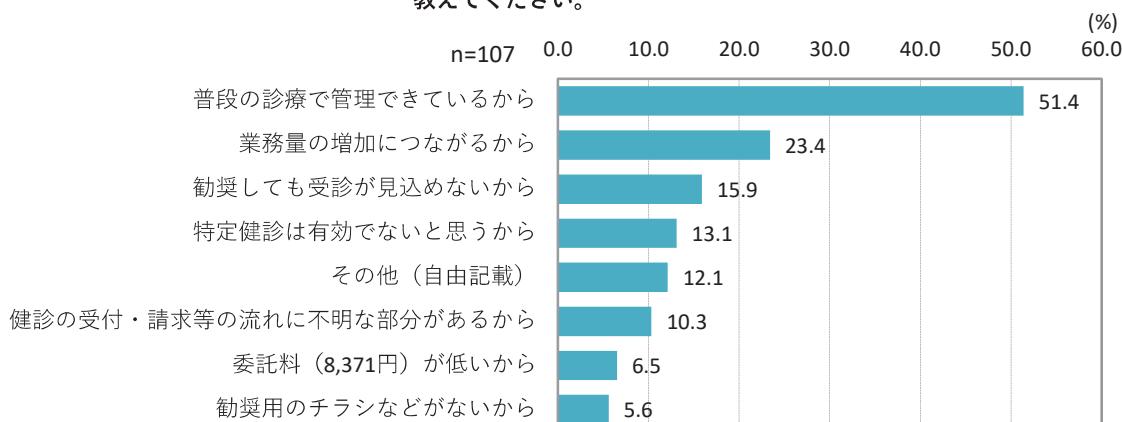
- 貴院では、来院者等に対し特定健診の受診を勧めているかについては、「とても勧めている」が12.0%、「勧めている」が50.0%となり、6割以上が来院者等に特定健診の受診を勧めていることがわかります。



Q9. (Q8で「あまり勧めていない」「全く勧めていない」と回答された方のみ) その理由を教えてください。

- 来院者等に対し特定健診の受診を「あまり勧めいない」「全く勧めいない」理由は、「普段の診療で管理できているから」が51.4%と最も多く、次いで「業務量の増加につながるから」が23.4%となっています。

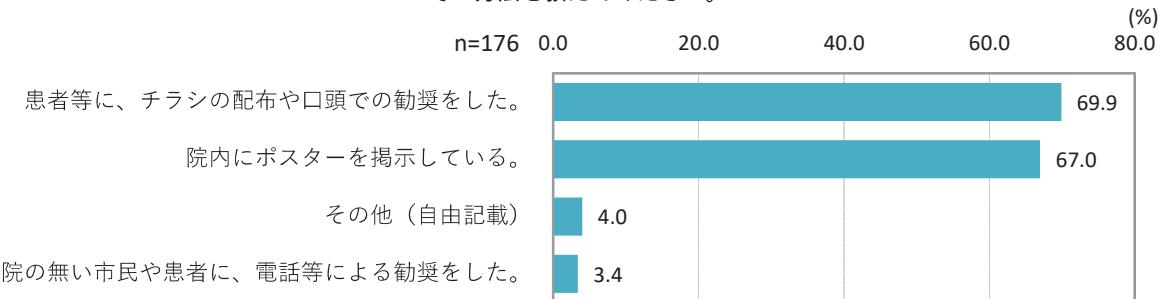
Q9. (Q8で「あまり勧めいない」「全く勧めいない」と回答された方のみ) その理由を教えてください。



Q10. (Q8で「とても勧めている」「勧めている」と回答された方のみ) その方法を教えてください。

- 来院者等に対し特定健診の受診を「とても勧めている」「勧めている」と回答した方の勧奨方法は、「患者等にチラシの配布や口頭での勧奨をした」が69.9%と最も多く、次いで「院内にポスターを掲示している」が67.0%となっています。

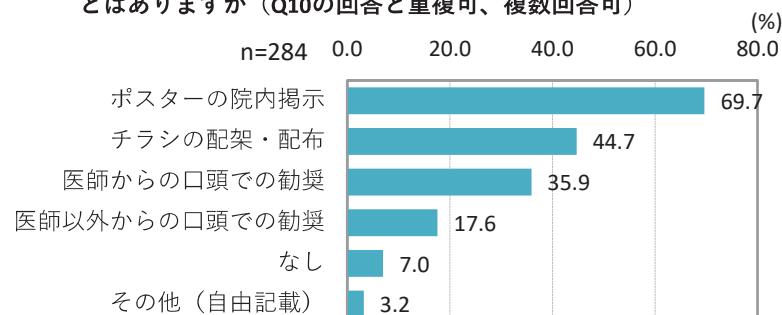
**Q10. (Q8で「とても勧めている」「勧めている」と回答された方のみ)
その方法を教えてください。**



Q11.特定健診受診率向上のため、貴院にてご協力いただけることはありますか(Q10の回答と重複可、複数回答可)

- 特定健診受診率向上のため、貴院にてご協力いただけることがあるかについては、「ポスターの院内掲示」が69.7%と最も多く、次いで「チラシの配架・配布」が44.7%となっています。

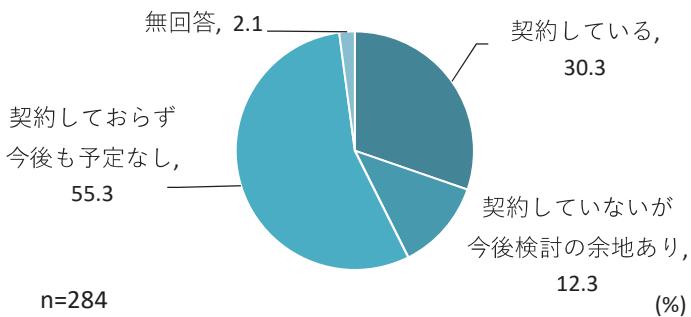
Q11.特定健診受診率向上のため、貴院にてご協力いただけることはありますか (Q10の回答と重複可、複数回答可)



Q12. 貴院において、札幌市国保の特定保健指導を契約していますか。

- 貴院において、札幌市国保の特定保健指導を契約しているかについては、「契約しておらず今後も予定なし」が55.3%と最も多く、次いで「契約している」が30.3%となっています。

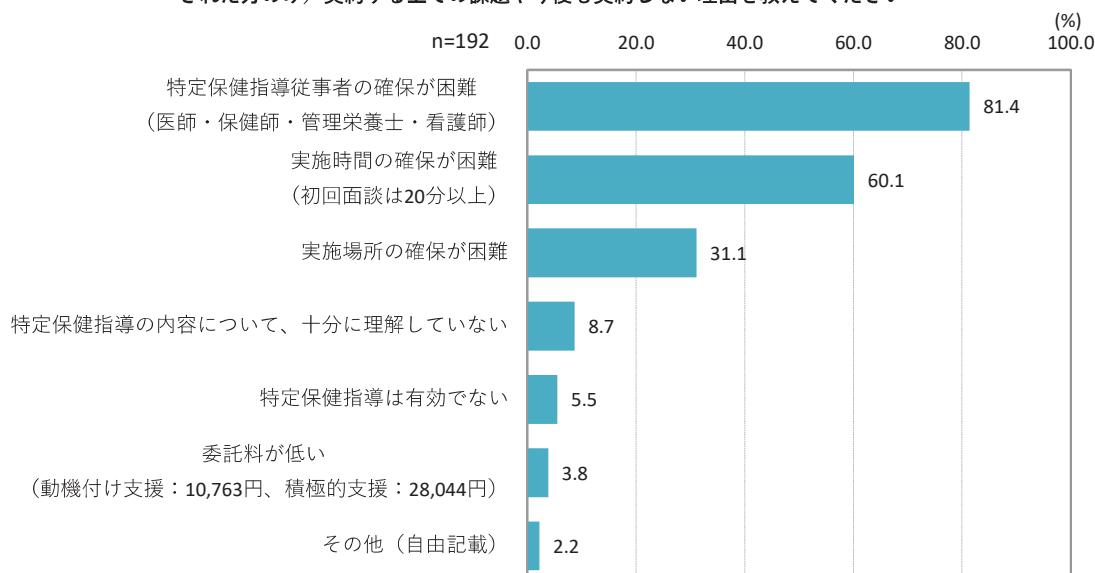
Q12. 貴院において、札幌市国保の特定保健指導を契約していますか。



Q13.(Q12で「契約していないが今後検討の余地あり」「契約しておらず今後も予定なし」と回答された方のみ)契約するまでの課題や今後も契約しない理由を教えてください

- Q12で「契約していないが今後検討の余地あり」「契約しておらず今後も予定なし」と回答された方の契約するまでの課題や今後も契約しない理由については、「特定保健指導従事者の確保が困難(医師・保健師・管理栄養士・看護師)」が81.4%と最も多く、次いで「実施時間の確保が困難(初回面談は20分以上)」が60.1%となっています。

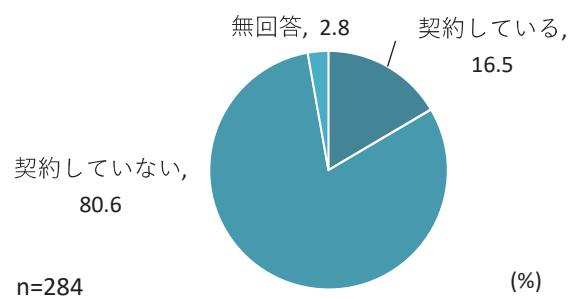
Q13. (Q12で「契約していないが今後検討の余地あり」「契約しておらず今後も予定なし」と回答された方のみ) 契約するまでの課題や今後も契約しない理由を教えてください



Q14. 貴院において、札幌市国保以外の特定保健指導を契約していますか。

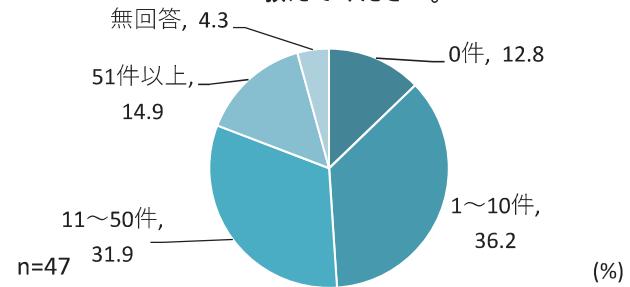
- 貴院において、札幌市国保以外の特定保健指導を契約しているかについては、「契約していない」が80.6%と多くなっています。

Q14. 貴院において、札幌市国保以外の特定保健指導を契約していますか。

Q15. (Q14で「契約している」と回答された方のみ) 札幌市国保以外の令和元年度の初回面接実施数を教えてください。

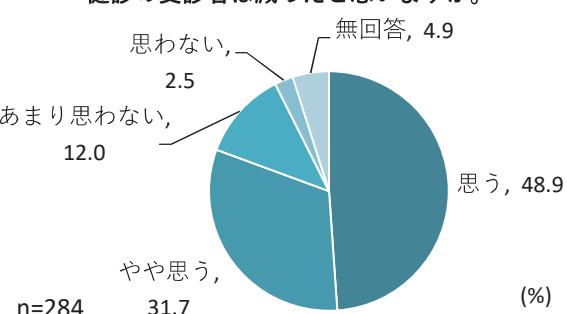
- Q14で「契約している」と回答された方の札幌市国保以外の令和元年度の初回面接実施数については、「1～10件」が36.2%と最も多く、次いで「11～50件」が31.9%となっています。

Q15. (Q14で「契約している」と回答された方のみ) 札幌市国保以外の令和元年度の初回面接実施数を教えてください。

Q16. 新型コロナウイルスの影響により、健診の受診者は減ったと思いますか。

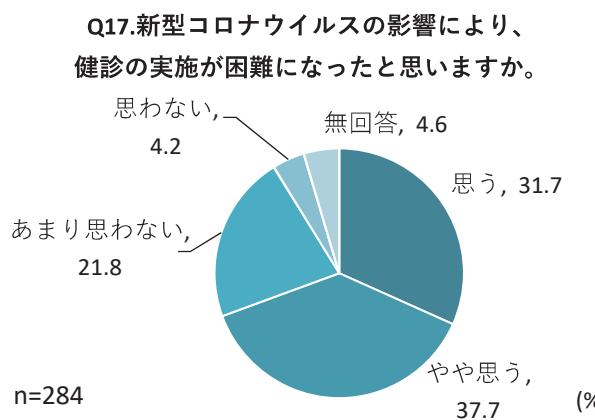
- 新型コロナウイルスの影響により、健診の受診者は減ったと思うかについては、「思う」が48.9%、「やや思う」が31.7%と約8割が受診者は減ったと思っていることがわかります。

Q16. 新型コロナウイルスの影響により、健診の受診者は減ったと思いますか。



Q17. 新型コロナウイルスの影響により、健診の実施が困難になったと思いますか。

- 新型コロナウイルスの影響により、健診の実施が困難になったと思うかについては、「思う」が31.7%、「やや思う」が37.7%と約7割が健診の実施が困難になったと思っていることがわかります。



2 外出自粓の身体面への影響調査

(1) 調査概要

- 令和2年4月、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出されました。不要不急の外出の自粓が求められたことにより、高齢者を中心に生活が不活発になる等の健康影響が危惧されるところです。
- そこで、外出自粓の身体面への影響を調査するため、平成30年、令和元年、令和2年の各年6月から8月の間、3年連続して特定健診を受診した2,696人分の健診データ（検査項目の検査値・質問票の回答状況）を分析しました。
- なお、検査項目の検査値に関する分析では、検査値が全て揃っている2,671人分のデータを分析対象としました。
- 本中間評価においては、外部環境の分析として位置づけます。
- 分析対象とした検査項目と質問票の質問項目は下記のとおりです。

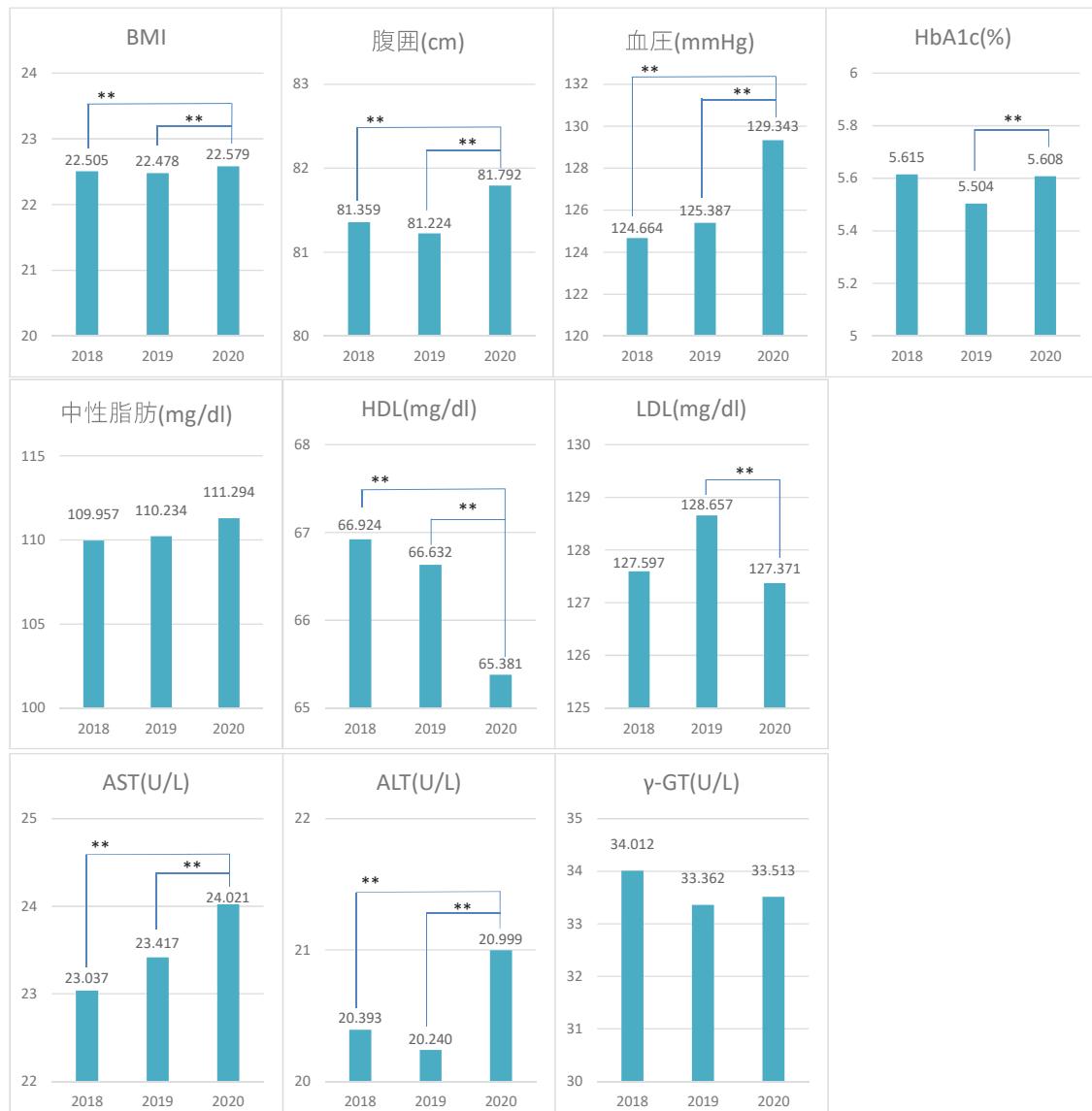
検査項目		判断基準 基準値
1	B M I 適正な体重は次の式で算出します。BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)。数値が18.5未満は低体重、25以上は肥満です。	18.5以上 25.0未満
2	腹囲 内臓脂肪が過剰にたまると、体重が適正であっても糖尿病や心筋梗塞、脳卒中などを引き起こしやすくなります。	男性 85cm未満 女性 90cm未満
3	血圧 高血圧の状態が続くと動脈硬化を招きやすく、心筋梗塞や脳卒中を引き起こす要因になります。	収縮期 130mmHg未満 拡張期 85mmHg未満
4	H b A 1 c 過去1~2ヶ月の平均的な血糖の状態を調べることができます。また、飲食などの影響を受けないため、糖尿病が疑われたときの検査として有効です。	5.6%未満
5	中性脂肪 食べすぎや飲みすぎ、肥満によって数値が高くなり、動脈硬化の発症・進行を促進します。	150mg/dl未満
6	H D L 血管内の悪玉コレステロールをとりさり、肝臓へ運んで、排出・処理する働きがあり、動脈硬化を予防します。	40 mg/dl以上
7	L D L 動脈硬化の進行度を調べることができます。動脈硬化が進行すると、心筋梗塞や脳梗塞などを引き起こす恐れがあります。	120mg/dl未満
8	A S T (GOT)	ALT(GPT)のほとんどは肝細胞に含まれ、数値が高いとウイルス性肝炎、アルコール性肝炎、脂肪肝などの肝臓障害が疑われます。また、AST(GOT)とALT(GPT)は肝臓の障害の程度を示すため、2つの数値を比較することで病気の種類を推測できます。
9	A L T (GPT)	31U/l未満
10	γ-G T AST(GOT)とALT(GPT)同様に肝臓障害の発見の手がかりとなります。また、アルコール飲酒者では数値が高くなることから、アルコール性肝炎発見の指標ともなります。	51 U/l未満

質問項目		選択肢
1	現在、たばこを習慣的に吸っている	はい・いいえ
2	20歳の時の体重から10kg以上増加している	はい・いいえ
3	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	はい・いいえ
4	日常生活において歩行や家事、庭仕事などの生活活動を1日1時間以上実施	はい・いいえ
5	ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い	はい・いいえ
6	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある	はい・いいえ
7	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取している	はい・いいえ
8	朝食を抜くことが週に3回以上ある	はい・いいえ
9	お酒（日本酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度	毎日・時々・ほとんど飲まない（飲めない）
10	睡眠で休養が十分とれている	はい・いいえ

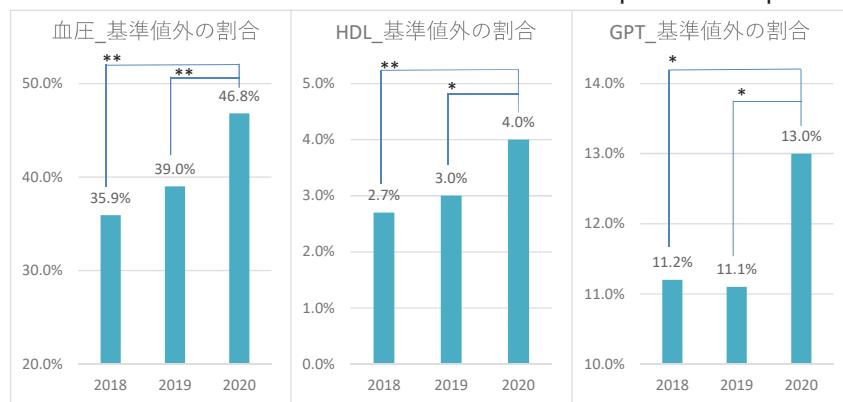
(2) 調査結果

- 検査項目の平均値が平成30年、令和元年と比較して令和2年が有意に高くなったあるいは低くなった検査項目は、BMI、腹囲、血圧、HDL、AST、ALTとなっています。このうち血圧、HDL、ALTについては、検査値が「基準値外」となった人の割合が平成30年、令和元年と比較して令和2年に有意に高い結果となっています。
- ここで、令和2年の血圧、HDL、ALTの検査値が「基準値内」となった人と「基準値外」となった人の生活習慣等について比較すると、検査値が「基準値外」となった人は、血圧では「20歳の時から10kg以上体重が増加した」、HDLでは「タバコを習慣的に吸っている」「20歳の時から10kg以上体重が増加した」「朝食を抜くことが週3回以上ある」、ALTでは「たばこを習慣的に吸っている」「就寝前の2時間以内の食事が週に3回以上ある」に該当する割合が「基準値内」の人よりも多くなっています。
- 男女別に検査項目の平均値が平成30年、令和元年と比較して令和2年が有意に高くなったあるいは低くなった検査項目は、男性では腹囲、血圧、HDL、AST、ALT、女性ではBMI、腹囲、血圧、HDLとなっています。また、男女ともに血圧については、検査値が「基準値外」となった人の割合が平成30年、令和元年と比較して令和2年に有意に高くなっており、年齢別にみると特に65歳以上で令和2年の検査値が「基準値外」となった人の割合が有意に高い結果となっています。
- これらのことから、外出自粛など新型コロナウイルス感染症感染拡大による生活様式の変化が健診結果に影響を及ぼした可能性があることが分かります。また、検査項目によっては検査値が「基準値外」となる人が増えており、その要因として、喫煙や不規則な食生活等が挙げられます。
- 特に高齢者では、「血圧」の検査値が「基準値外」となった人が増えており、運動不足やストレスを解消するとともに、食事や睡眠など規則正しい生活を送ることなどが大切です。

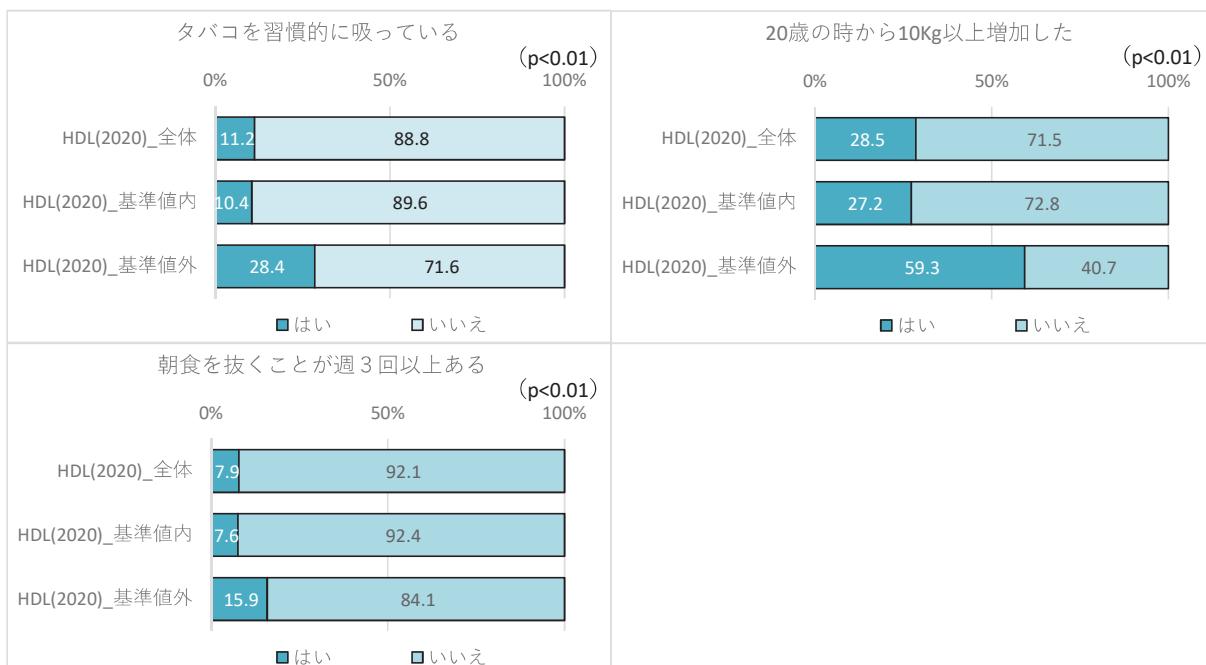
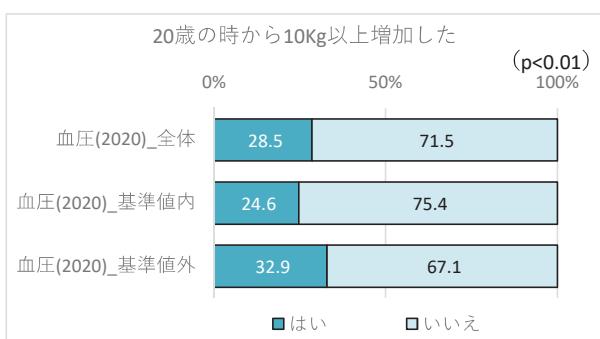
- また、コロナ禍においても、生活習慣病の予防のため、年に1回定期的に特定健診を受診し健康をチェックすることを強くお勧めします。

【検査項目の平均値】 (**p²⁵ <0.01、 *p<0.05)

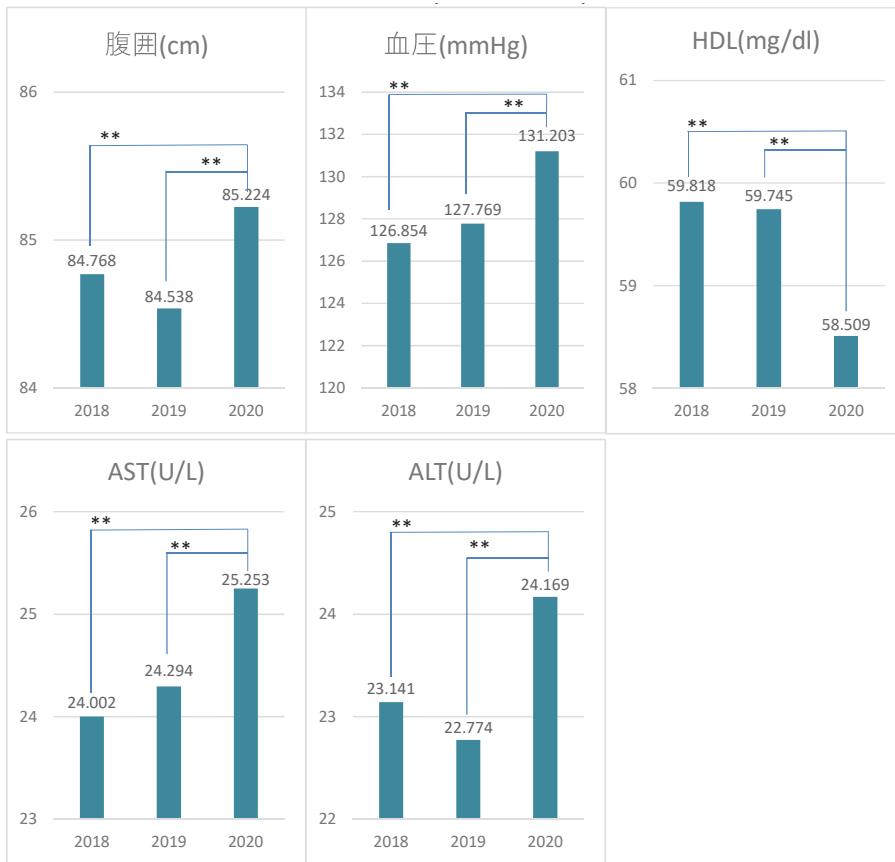
【検査値が「基準値外」となった人の割合】 (**p<0.01、 *p<0.05)

²⁵ 統計的に有意であることを示す数値であり、低いほど有意

【血圧、HDL、ALTの検査値が「基準値内」となった人と「基準値外」となった人の生活習慣等の比較(有意差が認められた項目)】

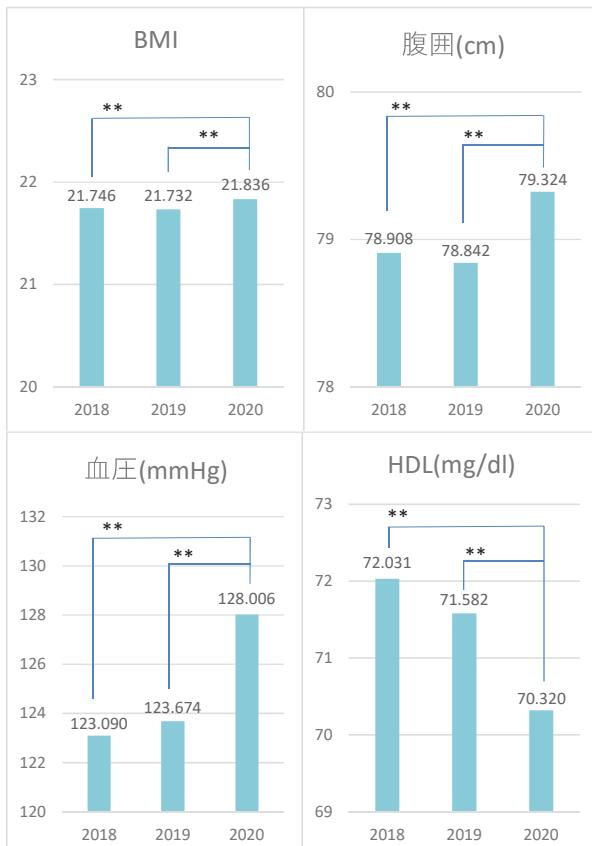


【検査項目の平均値（男性）】 (**p<0.01、 *p<0.05)



【検査項目の平均値（女性）】

(**p<0.01、 *p<0.05)



【血圧の年齢別の「基準値外」の人の割合】

